

事業所	徒歩圏の職員	参集把握区分			職員	徒歩圏内で 参集可能人数
		○ (可能) 3以下	△ (不確定) 4～5以下	× (不可能) 6以上		
MORE	4	13	8	3	24	3
いつきの里グループ/いつきの里	14	12	30	9	51	8
いつきの里グループ/いつきホームズ	10	12	13	7	32	10
ウィズ	5	6	14	4	24	3
くるみ園グループ/くるみ園	4	2	10	6	18	2
みらい・きらきらキッズ	2	5	9	1	15	2
ラ・ルーチェ	0	2	10	1	13	0
松山市障がい者北部地域相談支援センター	1	1	2	2	5	1
松山福祉園グループ/きずなホームズ	4	6	3	0	9	3
松山福祉園グループ/松山福祉園	4	12	21	6	39	2
地域生活者支援室/のぞみホームズ	12	12	32	3	47	9
地域生活者支援室/ホームヘルプサービス	3	2	12	3	17	1
地域生活者支援室/指定相談支援事業所	1	0	3	0	3	0
福角保育園	4	6	10	5	21	4
法人本部事務局	5	6	10	0	16	4
堀江保育園	5	16	3	0	19	5
計	78	113	190	50	353	57
	22.10%	32.01%				16.15%

令和5年4月1日現在における職員の参集把握調査をいたしました。

今年度は職員353名のうち32.01%（113名）が参集可能職員であることが分かりました。

また、福角会への徒歩圏内の職員は78名で全体の22.10%で、参集可能人数は16.15%(57名)の職員となります。

大規模災害等においては初動対応が重要であり、いち早く職員の参集が必要と考えます。交通寸断が予想される状況においては、とりわけ徒歩圏内の職員の参集が重要となりますが、初動対応における参集可能人数は法人職員の16.15%の職員しか確保できないということとなります。BCP発動後、忽ちはこの参集可能職員で対応が可能なこと等を検討・準備しておく必要があります。

また、令和4年度との比較では職員の家族構成に大きな変化があります。同居家族に「高齢者」や「障害を持たれている方」がおられる職員が大幅に増えています(令和4年度71名、令和5年度296名)(※小学生以下のご家族がいる職員については、大きな差はありません。令和4年度85名、令和5年度80名)。災害状況によっては、職員の参集や対応に影響があることも考えられます。

この現状を認識いただきまして、今後、危機管理委員会においてBCP発動後の初動対応の検討をしていきたいと考えています。

項目 \ 点数	0	1	2	3	4
通勤手段	自転車・徒歩・バイク	車・バス・電車			
通勤時間	10分未満	10分以上30分未満	30分以上1時間未満	1時間以上	
同居家族について(小学生以下)	0	1人	2人	3人	
同居家族について(高齢者(75歳以上))	0	1人	2人	3人	4人
自宅の建物の建築年	昭和57年(1982年)以降	昭和56年(1981年)以前			

※参集調査点数算出方法について

職員の通勤手段・時間、同居家族状況(小学生以下、高齢者(75歳以上)又は障害者の人数)、自宅建物の建築年を点数化し、合計点数が少ない職員について、参集が可能であると想定している。

合計点数「0～3」について参集可能、「4～5」不確定、「6以上」参集不可としている。

また、徒歩圏内で参集可能人数については、徒歩圏内で且つ合計点数が0～3の職員人数となっている。